

閲覧者特定で営業効率化

アクロスが新システム開発

システム開発のアクロス（金沢市）は、ホームページの閲覧者を特定できる法人向けのマーケティングシステ

ムを開発した。特定は、あらかじめ了承を得て氏名や住所を登録した個人に限る。企業側は、個人が閲覧した情報から趣向を分析でき、効率的な営業活動につながるという。

商品名はアクセス解析システム「アトムス」で、販売先は通信販売業者などを想定している。システムを導入すると、ホームページ上で閲覧回数の多い製品を把握し、個人に的を絞った訪問営業やダイレクトメールの送付が可能になる。野村充史社長は「ターゲットを絞り込むことで、成約の可能性が一気に高まる」としている。